

4 地震遭遇時(発生時)の行動 地震発生! その時どうする。

地震発生時の時間経過別行動マニュアル

地震発生

最初の大きな揺れは約1分間

- 自分の身の安全を確保。
- 頭を物で覆って保護する。
- テーブル、机の下に逃げる。
- 落下物を避ける。
- 家具の転倒に気をつける。
- ドアや窓を開けて逃げ道を確認する。



数分

揺れがおさまったら

みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

- 火元の確認(出火していたら、初期消火)。
- ブレーカーを切る。
- ガスの元栓を閉める。
- 室内の家族の安否確認。
- 屋外へ出る/靴を履く。
- 非常持出品を持つ。



家の周りの確認 隣近所の安否確認

- 塀の倒壊などはないか家の周囲を確認する。
- 余震に注意する。
- 電線の切断や道路の損壊などに注意する。
- 隣近所に声をかける。



数十分

ラジオなどで正しい情報を

- ラジオ/テレビ/防災無線/広報車 など

協力して消火活動、救出・救護活動を

- 消火、救出、救護 など ●負傷者は救護、避難させる。
- 家屋の倒壊のおそれがあれば避難(一時避難場所、避難所を確認しておきましょう。)



数時間

■一時避難場所: 町民自ら判断し、一時的に避難する場所

■避難所: 町が開設するもので、家が倒壊する恐れがある等の人のための一時的宿泊場所の提供や、食料・衣料・雑貨などの供給拠点

■緊急輸送道路: 災害発生時の応急対策活動を実施するために必要な道路。高速道路、一般国道及びこれらと連絡する幹線的な道路や、役場・病院など防災拠点と連絡する道路などが指定されている。

屋内にいた場合

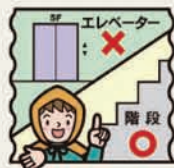
■家の中

- 揺れを感じたらまず身の安全確保。
- 揺れがおさまったら、火元の確認→消火。
電気→ブレーカーを切る。
ガス→元栓をしめる。
- 家族の無事を確認。
- 家族、特に乳幼児・病人・高齢者の安全確保。
- 靴を履き、すばやく屋外の安全な場所へ避難。



■集合住宅

- ドアや窓を開け、避難口を見つける。
- エレベーターは使わず、階段を利用する。
- 炎と煙に巻き込まれないよう注意する。



■デパート・スーパー

- 頭の保護(落下物から身を守る)。
- 陳列棚やガラスから遠ざかる。
- 柱や窓わきに身を寄せる。
- 非常口を見つける。



■劇場・ホール

- 頭の保護(落下物から身を守る)。
- 座席の間に身を隠す。
- 係員の指示に従う。 ●非常口を見つける。

屋外にいた場合

■路上

- 何も無い広場に避難する。
- ビル街はガラスなどの落下物に注意し、頭を保護する。
- ブロック塀(石塀)、自動販売機に近づかない。
- 電柱や垂れ下がった電線は危険、注意する。



■車を運転中

- 地震を感じたらゆっくりスピードダウンして道路左側に停車し、ハザードランプ等で後方に知らせる。
- エンジンを切る。
- 揺れがおさまるまでは車外に出ず、ラジオなどで情報を確認する。
- 車を離れるときは貴重品を持ち出し、ドアのキーはつけたままでロックしない。

■電車などの車内

- 急停車時にはしっかりと吊革を掴む。
- 非常事態による脱出は、係員の指示に従う。